

一人の声を大切に

大塚勝利 NEWS

Vol.

31

2014春

家族の介護負担軽減を 障がい者団体の会合で議会報告



福岡市中央区の市立心身障がい福祉センターで3月8日、「脱・家族介護を考える 福岡の現状と課題」（福岡県肢体不自由児者福祉連合会主催）が開かれ、公明党の大塚勝利議員が県議会での取り組みを報告しました。

大塚議員は、長年在宅で介護を続けるご家族の要望を受け23年12月議会で在宅の重症心身障がい児・者の実態調査を提案、県は調査に着手しました。「その結果、介護者の9割が親で、その約半数が5時間以下の睡眠時間であることなど、心身ともに負担が大きい実態が判明した」と力説。その上で、議会で短期入所サービスや介護職員のたん吸引研修の拡充を訴えてきた結果、26年度予算に介護する家族の負担軽減に向けた医療的ケア体制を整備する新たな事業が盛り込まれ、あわせて県立特別支援学校でこれまで看護師や親に限ってきた、たん吸引などの医療的ケアが教員にも拡大したことを報告しました。大塚議員は「介護する家族の負担が少しでも減らせるよう、これからも課題解決に全力で取り組んでいく」と決意を述べました。

虐待を受けた児童の医療的ケアを強化せよ 一般質問

福岡県議会2月定例会一般質問で大塚勝利議員は、児童養護施設等の視察をもとに虐待を受けた児童の多くがその後遺症に苦しんでいる現状を報告。医療的ケア体制の不足を指摘するとともに、虐待による重篤な児童に専門的な支援を行う情短施設・県立筑後いずみ園の医療機関との連携・強化を求めました。



小川知事は、「虐待を受けた児童の中には心に深い傷を負っている児童もあり、専門医による定期的な診断や医療的ケアが大変重要だ。筑後いずみ園は、平成13年度から本県唯一の情緒障害児短期治療施設として治療に取り組んでおり、近年、医療体制強化が求められている。ニーズに的確に対応していくための方策について、運営のあり方を含め検討していく」と答弁しました。

※情緒障害児短期治療施設（情短施設）は、心理的・精神的問題を抱え日常生活の多岐にわたり支障をきたしている子どもたちに、医療的な観点から生活支援を基盤とした心理治療を行う。本県には県立筑後いずみ園がある。

詳しくは**大塚勝利ブログ**で検索

がんと正しく向き合う 中川・東大准教授招き「生きるの教室」

福岡・飯塚市立穂波西中学校で開講



割の確率で治すことができる」とし、生活習慣を変えることと検診の重要性を訴えました。終了後、多くの生徒から「生きることを再確認できた」「毎日生きていることに感謝し希望を持って生きていきたい」など、感想を話していました。

このほど飯塚市の穂波西中学校で、東京大学医学部付属病院 放射線科准教授 中川恵一氏を講師に健康教育プログラム「生きるの教室」が行われました。この教室は、中学生を対象に、がんの予防と治療に関する学びを通じて生きる力を育む取り組みです。同授業は全国各地で行われ、今回が12回目。公明党県議団の提案により九州で初めて実施されました。

中川先生は生命の大切さを訴えるとともに、がんの予防、治療の学習の中で「早期のがんは9

五輪キャンプ誘致 「連絡会議」設置へ 代表質問

五輪キャンプ誘致「連絡会議」設置へ

新年度、小川知事方針

小川洋知事は6日、2020年東京五輪・パラリンピックに向け、県内へのキャンプ誘致などを積極的に進めるため、県内の自治体など連絡会議を設置する方針を明らかにした。県議会代表者間で答弁した。

県民文化スポーツ課によると、連絡会議は4月以降に設置。担当課レベルで連携し、情報収集や発信を行なうという。

知事は、大勢の観戦客が来日することを踏まえて、「九州競光推進機構と連携して、九州一体で誘致することが重要」とも答弁。観光ルート開発やガイド育成にも力を入れる考えを示した。

(写真: 県庁)

福岡県議会2月定例会の公明党の代表質問で、小川知事は2020年東京五輪・パラリンピックに向け、県内へのキャンプ誘致などを積極的に進めるため、県内の自治体などと連絡会議を設置する方針を明らかにしました。

知事は、大勢の観戦客が来日することを踏まえて「九州観光推進機構と連携し、九州一体で誘客することも重要」とも答弁、観光ルート開発やガイド育成に力を入れる考えを示しました。

脱法ハーブ 根絶へ 4月から指定薬物の所持、使用等が禁止へ

脱法ハーブについて、小川知事は公明党の代表質問で、4月1日から新たに指定薬物の所持、使用、購入が禁止され、罰則が科せられることとなり、使用者の取り締まりもできるようになった。脱法ハーブには、どのような成分がどれくらい含まれているか不明でありこれまで販売店に対して販売自粛を要請してきた。法改正を機に、指定の有無にかかわらず、健康被害を及ぼす脱法ハーブについては「絶対に手を出さない・許さない」という姿勢で取り組む。警察や九州厚生局と連携して合同捜査を実施し、販売者や使用者等を徹底して取り締まっていく、と述べました。

発行責任者:福岡県議会議員 大塚勝利 福岡市東区みどりが丘1-8-8 TEL:092-691-7731
県議会控室 TEL:092-643-3805

E-mail: ootsuka_katsutoshi@yahoo.co.jp

詳しくは**大塚勝利ブログ**で検索